

■ベーシック課程（6単位）：カヤック、オープンカヌー

安全な指導をするに当たり、静水フィールドにおける必要かつ最低限の知識と技術を身につけているかを評価する課程。

1. 課目と内容

課目		課題	
知識	1)総論	JSCA活動について リスクマネジメント概要 カヌー活動概要	※教養課程6課目修了者は受験免除
	2)安全	カヌー活動における安全管理 カヌー活動特有の傷病と応急処置 ※心肺蘇生法講習修了者を対象とした内容	
	3)カヌーの基礎知識	カヌー用具の基礎知識 フィールドの特性と潜む危険要素 技術分析と方法論	
技術	4)漕艇技術	静水における基本的な艇操作 ※「漕艇技術・課目詳細内容」を参照	
	5)指導技術	受験者同士による模擬講習形式での実習 ※「指導技術（模擬講習）・課題詳細内容」を参照	
	6)安全技術	JSCA・SRPに準じた研修 ※教養の「安全」「カヌーの基礎知識」と併せて「SRP講習修了」と同程度の内容	

●判定の目安

★知識課目1)～3)：90分程度の講義受講後、30分程度のペーパーテスト実施

・基本的な知識を身につけているか

★技術課目

4) 漕艇技術：「漕艇技術・課目詳細内容」を参照

5) 指導技術：「指導技術（模擬講習）・課題詳細内容」を参照

6) 安全技術：

・研修終了とする

・但し、受験艇種における【落水者を再乗艇させるレスキュー技術】は習得を必須とする

2. 評価と認定

担当検定員が各課目毎に100点満点で採点する。

「知識」課目は、全て75点以上の時に5段階評価で「A」以上とする。

「技術」課目は、各課目の採点結果を元に5段階評価をする。

「知識」「技術」ともに「A」以上の時、ベーシック課程・6単位を認定する。

尚、認定可否に関わらず、ベーシック課程を修了したものは、「JSCA・SRP講習」修了者として認定される。

▼漕艇技術・課目詳細内容

1-1)カヤック種目：レクリエーションカヤック【RecK】、シットオントップ【SOT】

課目	課題
コンビネーション	目標地点に向かって、前進、停止、出発地点の方向へ後進する ・50m程度の距離で1回実施（後進の距離は短めとする） ・課題を達成するための技法（スキル）は問わない
スピン	停止状態から、フォワードとリバースのスイープ・ストロークを使って、スムーズな定置回転をする（左右各2回転）

●使用艇について

- ・ハードハル（リジッド）タイプのいわゆるレクリエーションカヤックまたはシットオントップを使用する
- ・ラダー、スケグ等の補助具の使用は認めない

1-2)オープンカヌー種目：タンデムツーリングカヌー【TTOC】

課目	課題
コンビネーション	目標地点に向かって、前進、停止、スピン（180度回転）し、出発地点の方向へ再度前進、停止、スピン（逆180度回転）する ・50m程度の距離で1回実施 ・課題を達成するための技法（スキル）は問わない
サイドスリップ	停止状態から、左右各方向へスリップする ・各方向へ5m程度の移動を1回実施 ・課題を達成するための技法（スキル）は問わない

●使用艇について

- ・ハードハル（リジッド）タイプのオープンデッキカヌー（タンデムツーリングカヌー）を使用する
- ・アウトリガー、ラダー、スケグ等の補助具の使用は認めない

●判定の目安：カヤック、オープンカヌー種目共通

- ・課題を達成しているか
- ・各々の技術の目的と効果を理解しているか
- ・一般的に、無理なく効率の良い身体運動をしているか
- ・確実な水のキャッチ、正確なストローク、効率の良いフィニッシュがなされているか
- ・全体の安定感（コントロール、バランス、スムーズさ）が保たれているか

▼指導技術（模擬講習）・課題詳細内容：全種目共通

課題	実施方法
PFD装着	受験者同士による模擬講習実習（ワークショップ形式） ・左記3課題のうち1課題を担当 ・模擬講習対象はカヌーが初めての初心者とする
乗艇下艇	
陸上パドリング	

●判定の目安：共通項目

- ・基本的な内容を理解しているか
- ・安全に行っているか
- ・どのように伝えているか